

平成 10 年 12 月 14 日

加藤豊島区長

アメリカ合衆国の未臨界核実験に対し

クリントン大統領 へ 嚴重抗議

14日（月）加藤一敏豊島区長は、アメリカ合衆国がネバダ州の地下核実験場で5回目の未臨界核実験を実施したと発表したことに對し、クリントン大統領に抗議文を送付した。

抗議文は、別紙のとおり。

問合わせ先 総務課長

1998年12月14日

アメリカ合衆国大統領

ウィリアム・J・クリントン 閣下

貴国は、12日、ネバダ州の地下核実験場で5回目の未臨界核実験を実施したと発表いたしました。

私は、去る10日、閣下に対し、計画しているすべての未臨界核実験の中止を強く要請したにもかかわらず、貴国は、私たちと世界の人々の核兵器の廃絶と恒久平和の願いを全く無視し、未臨界核実験を強行いたしました。

核実験を全面的に禁止する包括的核実験禁止条約（CTBT）には違反しないという貴国の余りにも身勝手なこの行為は、核兵器廃絶に向けた国際社会の意思に逆行するとともに、「非核都市宣言」を行った自治体である豊島区にとって、断じて見逃すことのできない暴挙であり、ここに再度、怒りを込めて嚴重に抗議いたします。

日本国

東京都豊島区長 加藤 一 敏